

松戸市総合計画（案）の概要 2021年12月

序章 総合計画策定の前提（P4～P5）

- ◆政策の基本的な方向を総合的、体系的にまとめた計画
- ◆まちづくりの方向性を市民と共有し、めざす姿を実現していくための指針
- ◆これまでの総合計画や総合戦略の基本的な考え方を踏襲しつつ、新たな手法を取り入れながら策定
- ◆計画期間は、令和4年度（2022年度）～ 令和11年度（2029年度）の8年間。4年を目途に見直しの必要性を検討
- ◆地方版総合戦略と一体のものとして策定
- ◆計画の特色として
 - ①これまでの「総合計画の『基本計画』『総合戦略』」の役割
 - ②多くの市民参加による計画策定
 - ③個別計画との連続性を重視し、まちづくりの方向性を理解しやすいよう工夫

第1章 本市を取り巻く環境の将来予測と本市の現状（P6～P33）

- ◆「シナリオプランニング」の手法を活用した、変化のスピードが速い時代の環境分析と戦略立案
後期基本計画において、「対話」を通じ、市民参加と計画づくりを行ってきましたが、今回は将来の環境変化を考えるとところから市民参加で検討し、その結果を計画づくりに活かしています。
- ◆2030年の日本における私たちの暮らしと本市の現状
 - ★ほぼ確実な未来（ベースシナリオ）
 - ★本市の現状
 - ★不確実な社会環境の変化と未来に備えた戦略
 - ★シナリオの活用
 - ★市民ニーズ調査・市民ワークショップ

第2章 将来ビジョン（P34～P47）

- ◆将来人口の展望：計画期間を含む2030年まで、50万人規模で維持
- ◆財政の見通し
- ◆都市づくりの考え方
- ◆地域についての考え方
- ◆将来都市像と6つの基本目標

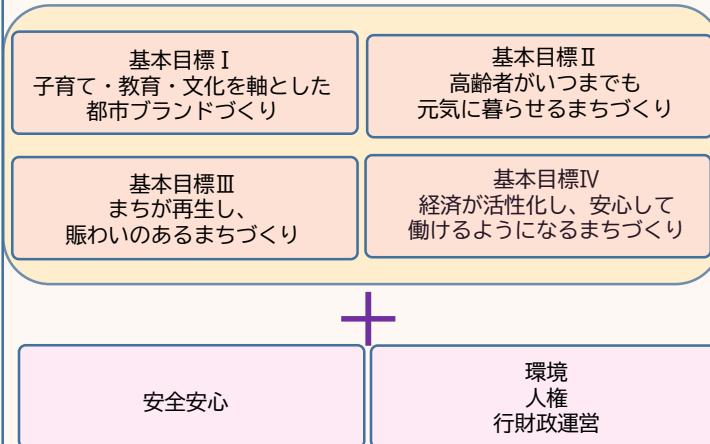
第3章 施策展開の方向（P48～P90）

◆基本目標ごとに

- ①数値目標
- ②現状やこれまでの取組
- ③課題
- ④基本的方向
- ⑤政策・施策
- ⑥重要業績評価指標（KPI）

を記載

参考）現・総合戦略 4つの基本目標



将来都市像

多世代がともにいきいきと思い思いに暮らすことができるまち やさシティ、まつど。
～つよくしなやかに みんなで松戸の新たな時代を創ろう～

基本目標1 子育て・教育・文化（P50～P59）

～子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり～

- 1-1 安心して妊娠・出産・子育てができ、子どもが健やかに育つ環境づくり
- 1-2 「学びの松戸モデル」の推進
- 1-3 多文化共生と文化芸術・観光の推進

基本目標2 高齢者・障害者・福祉・健康・地域共生（P60～P66）

～誰もがいきいきと暮らせるまちづくり～

- 2-1 心身の健康の維持・増進
- 2-2 自立した生活を支える地域共生社会の構築
- 2-3 充実した医療体制が整っている健康医療都市まつどの推進
- 2-4 感染症から市民の健康と生活を守る体制の整備

基本目標3 まちの再生・リニューアル（P67～P74）

～居心地の良い魅力的なまちづくり～

- 3-1 多様なライフスタイルを実現できる都市空間の整備
- 3-2 快適に移動・アクセスできる交通ネットワークの整備
- 3-3 みどりと暮らす豊かさを実感できるまちづくりの推進
- 3-4 市内を流れる河川の安全性と親水機能の向上
- 3-5 良質な下水道サービスの持続的な提供
- 3-6 安全な水道水の安定した供給

基本目標4 雇用創出・経済活性化（P75～P79）

～地域経済が活力にあふれ、自分らしく働けるまちづくり～

- 4-1 商工業や新たな地域産業の振興
- 4-2 付加価値の高い都市農業の推進
- 4-3 多様なワークスタイルの実現

基本目標5 防災・防犯・安全安心（P80～P83）

～安全で安心して暮らせるまちづくり～

- 5-1 大規模災害から生活や生命を守るための備えの充実
- 5-2 火災予防の推進
- 5-3 消防体制の充実
- 5-4 市民の生命をつなぐ救急救命体制の充実
- 5-5 犯罪や事故被害のない安全で安心な生活の実現

基本目標6 SDGs（持続可能な開発目標）を推進する社会（P84～P90）

～人と環境にやさしいまちづくり～

- 6-1 地域における連携体制の構築
- 6-2 人権や平和が尊重される地域社会の形成
- 6-3 男女共同参画の推進
- 6-4 様々な変化に対応する行財政運営
- 6-5 人と環境にやさしい持続可能なまちの形成

第4章 計画の効果的かつ着実な推進（P91）

- ◆進捗管理
PDCAマネジメントサイクルに基づき、設定した数値目標等を毎年検証する。「松戸市まち・ひと・しごと創生懇談会」の活用など。